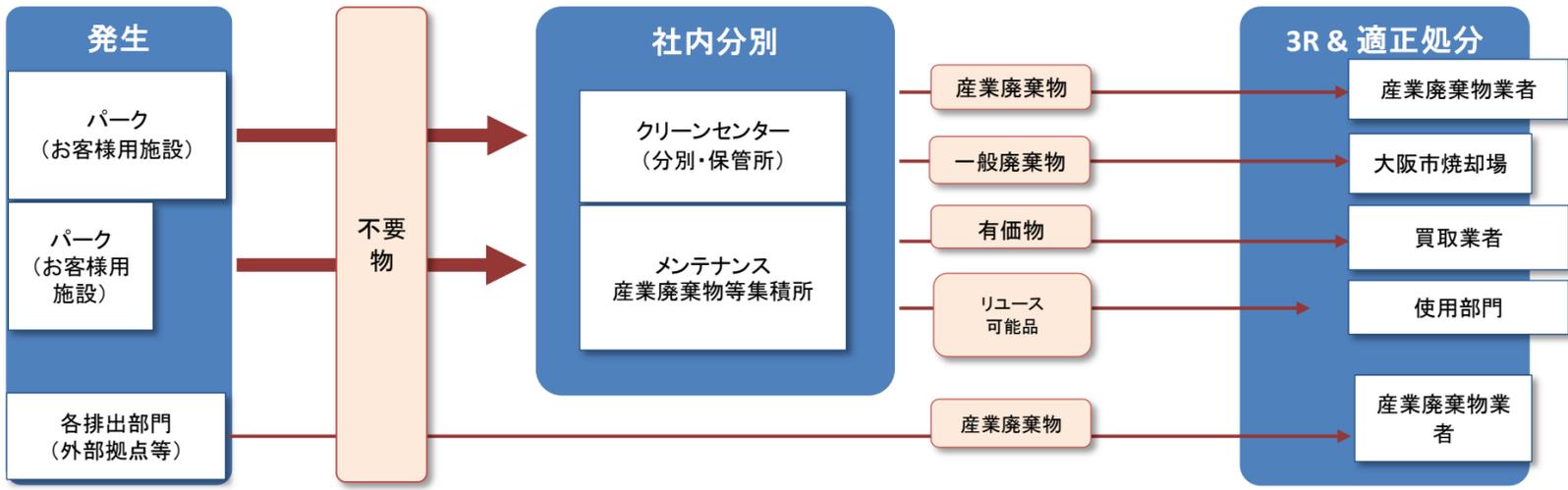


（第1面）

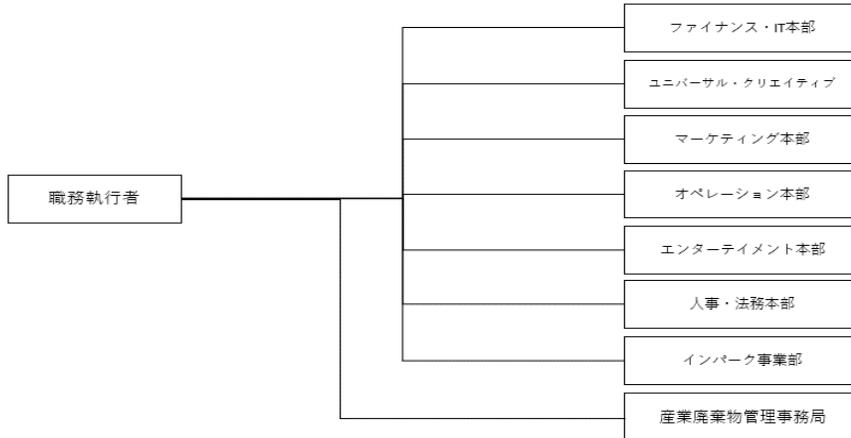
産業廃棄物処理計画書	
2024 年 月 日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪市此花区桜島2丁目1番33号 氏 名 合同会社ユー・エス・ジェイ 職務執行者 ジャン・ルイ・ボニエ (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-6465-3675	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
事業場の所在地	大阪市此花区桜島2丁目1番33号
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	84：娯楽業
②事業の規模	資本金 50億円
③従業員数	15,426名 (社員2,765名・アルバイト、業務委託、派遣等 12,661名) ※2024年3月末時点
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙行程の通り

別紙工程表



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	排出量	6 t	8.14 t
	(これまでに実施した取組) ・パーク内分別ステーションにおける16品目への分別作業や、各部門における分別排出等を通じて、産業廃棄物から有価物への転換を推進している。 ・カトラリーなどを環境に配慮した素材の物に試験導入。 ・食品廃棄物の液肥化に向けて機械を導入。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び新築、改築又は除去に伴	
	排出量	6 t	8.14 t
	(今後実施する予定の取組) ・従業員が働いている箇所に設置しているゴミ箱の表記を統一。分別促進を促している。 ・精製した液肥を施設の植栽にしようできるか検証中。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、金属くず、廃乾電池類、廃油等を中心に、分別保管・分別廃棄を推進している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別を促進させるために、細かな部分の表記をするなどゴミの分別を促進させる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
1.95 t	8.58 t	1594.634 t	0 t
【目標】			
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
1.95 t	8.58 t	1594.634 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
16.952 t	223.645 t	1.935 t	2.01 t
【目標】			
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
16.952 t	223.645 t	1.935 t	2.01 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
76.9 t	0.72 t	0 t	1703.693 t
【目標】			
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
76.9 t	0.72 t	0 t	1703.693 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
廃乾電池類	廃油	廃溶剤	木くず
4.115 t	53.64 t	0.72 t	147.4 t
【目標】			
廃乾電池類	廃油	廃溶剤	木くず
4.115 t	53.64 t	0.72 t	147.4 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（ 2023年度）実績】			
有機性汚泥	—		
9.68 t	— t	t	t
【目標】			
有機性汚泥	—		
9.68 t	— t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・環境に配慮したカトラリーの試験導入 ・液肥化装置の導入と液肥の展開検証 ・ゴミ分別シールの社内統一		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	、コンクリートくず及び	新築、改築又は除去に伴
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・施設植栽に対する液肥の利用開始 ・環境に配慮したカトラリーの促進		

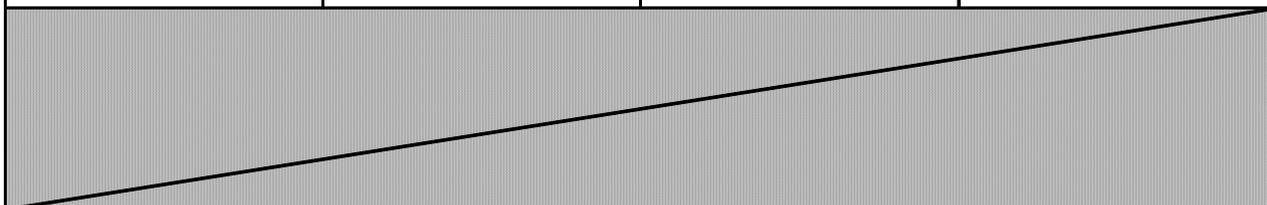
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
（これまでに実施した取組） 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	、コンクリートくず及び	新築、改築又は除去に伴
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
（今後実施する予定の取組） 該当なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

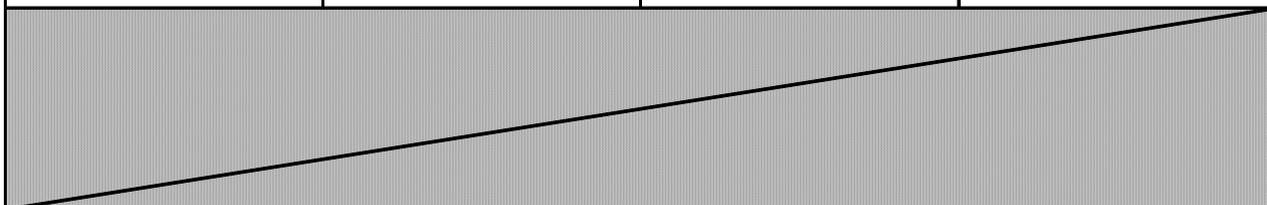
【前年度（2023年度）実績】

ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

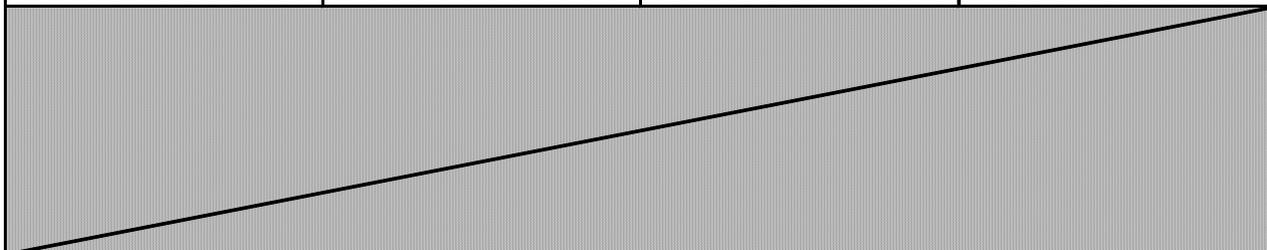
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t



自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

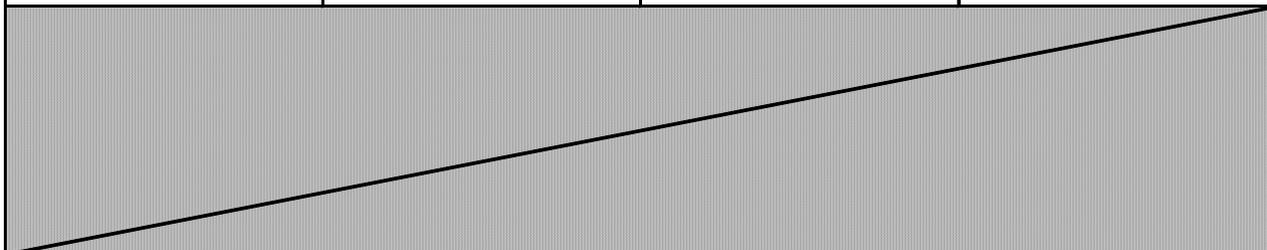
【前年度（2023年度）実績】

ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

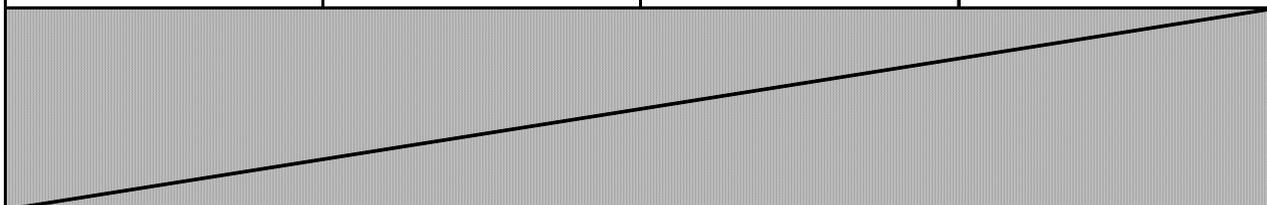
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

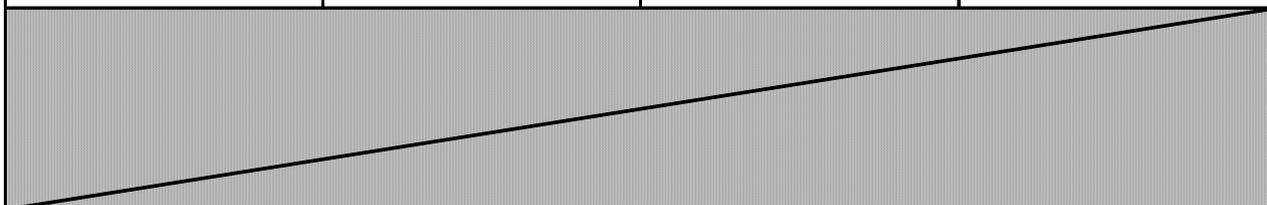
【前年度（2023年度）実績】

管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

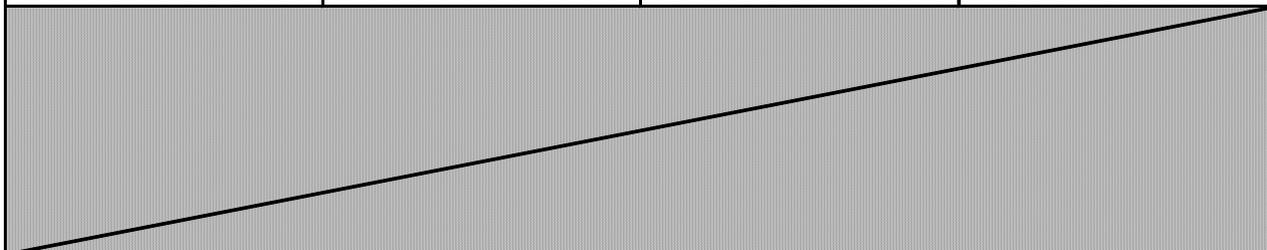
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
－ t	－ t	－ t	－ t



自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

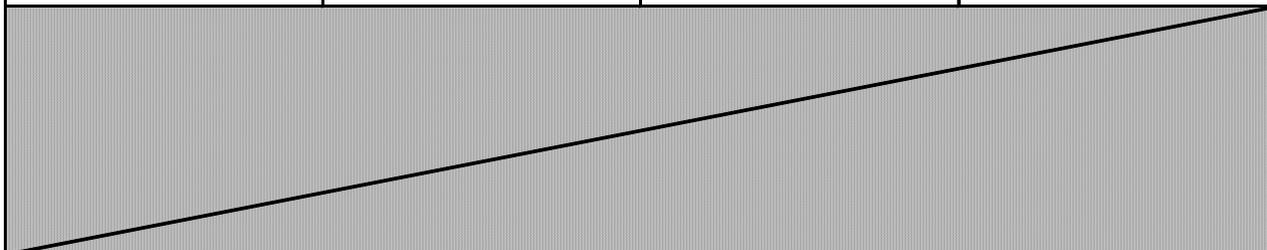
【前年度（2023年度）実績】

管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

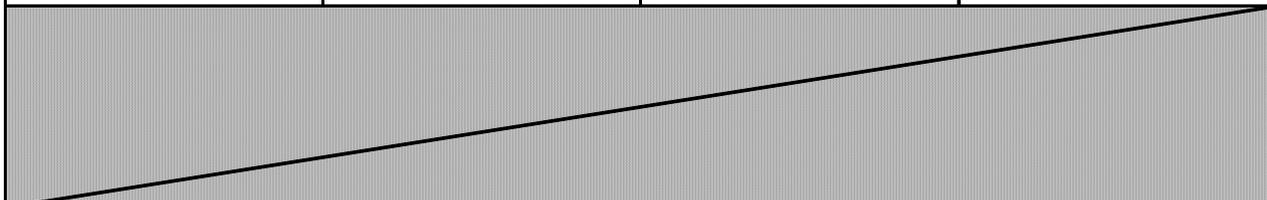
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

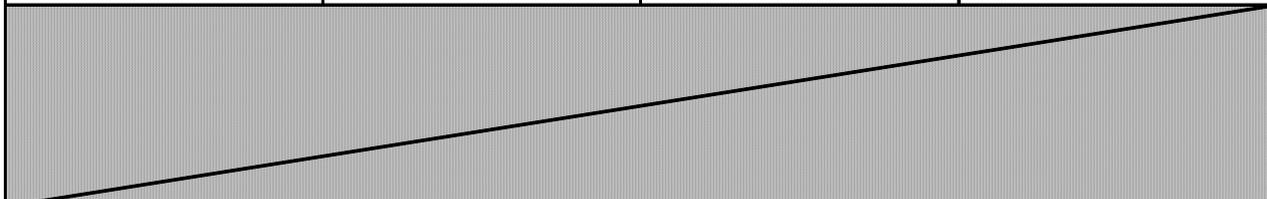
【前年度（2023年度）実績】

動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

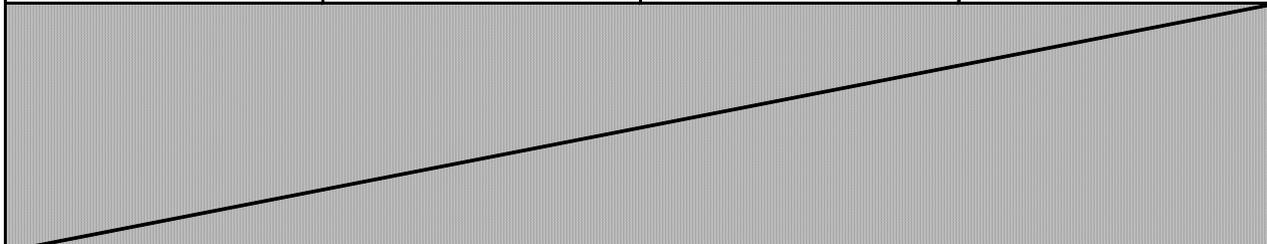
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
－ t	－ t	－ t	－ t



自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

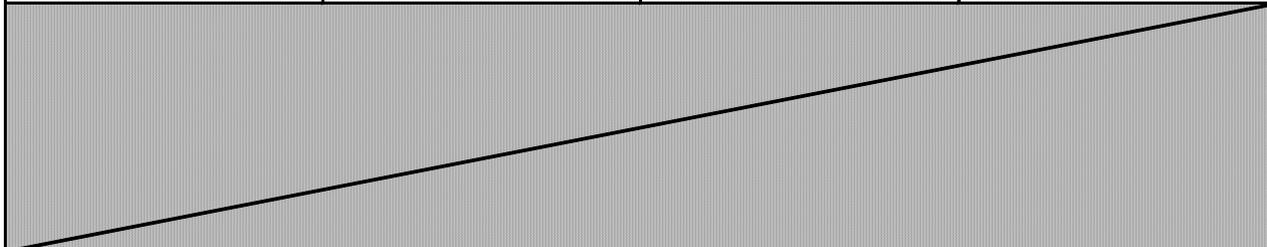
【前年度（2023年度）実績】

動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t



## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	、コンクリートくず及び	新築、改築又は除去に伴
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	全処理委託量	6 t	8.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
（これまでに実施した取組） 該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
1.95 t	8.58 t	1594.634 t	－ t
0 t	0 t	1303.764 t	0 t
0 t	0 t	1275.94 t	0 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

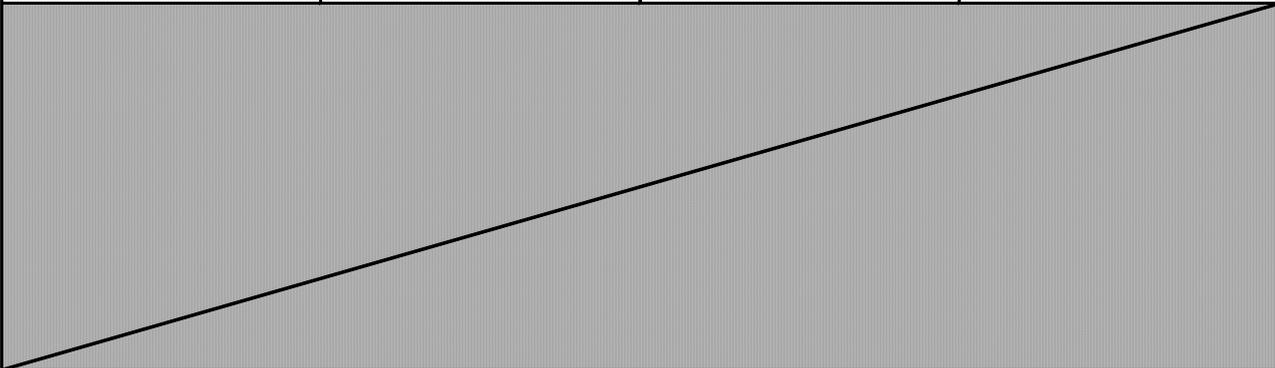
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
16.952 t	223.645 t	1.935 t	2.01 t
0 t	9.51 t	1.935 t	0 t
0 t	223.645 t	0 t	0 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

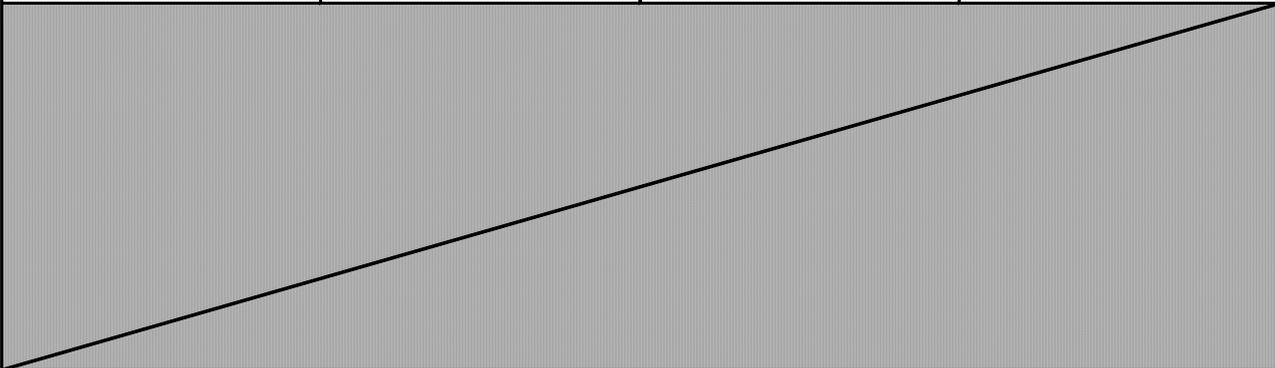
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
76.9 t	0.72 t	－ t	1703.693 t
76.9 t	0.72 t	0 t	1226.065 t
0 t	0 t	0 t	743.44 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	、コンクリートくず及び新築、改築又は除去に伴	
	全処理委託量	6 t	8.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理業者の現地視察を進める。</li> <li>・現状において単純焼却等されている廃棄物を再生利用できるよう、関係業者との意見交換を継続する。</li> <li>・処理委託先選択において、優良認定処理業者の選択を推進する</li> </ul>			
※事務処理欄			

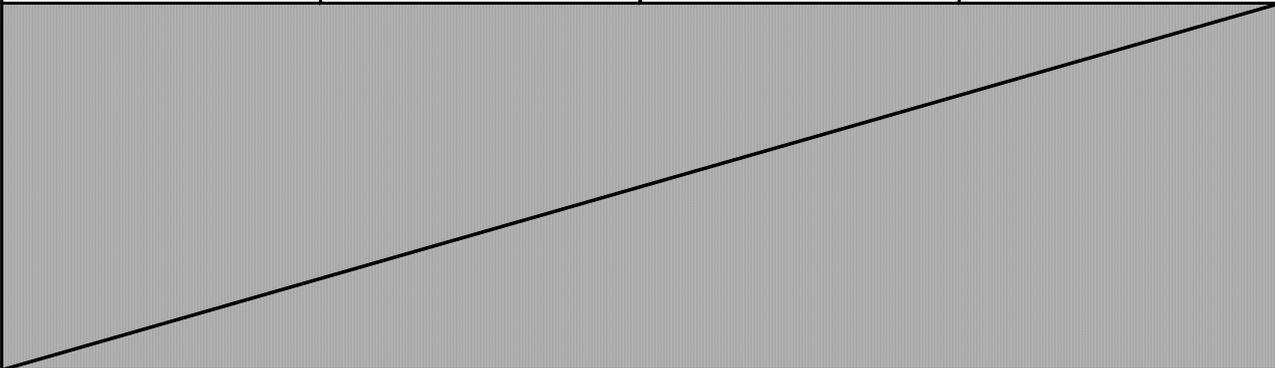
【目標】			
ダンボール	安定型混合廃棄物	汚泥（泥状のもの）	感染性廃棄物
1.95 t	8.58 t	1594.634 t	— t
0 t	0 t	1303.764 t	0 t
0 t	0 t	1275.94 t	0 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



【目標】			
管理型混合廃棄物	金属くず	蛍光灯	紙くず
16.952 t	223.645 t	1.935 t	2.01 t
0 t	9.51 t	1.935 t	0 t
0 t	223.645 t	0 t	0 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



【目標】			
動・植物性残渣	燃えやすい廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類
76.9 t	0.72 t	— t	1703.693 t
76.9 t	0.72 t	0 t	1226.065 t
0 t	0 t	0 t	743.44 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。